

2025年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、多大なご支援、お引き立てを賜り、心より御礼申し上げます。2024年を振り返りますと、能登半島地震に始まり、多くの天災に見舞われた年でもありました。被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

当社におきましては、保守契約台数が3月に10万台を突破し、現在は約11万台となりました。2019年に5万台を突破して以降、わずか5年間で契約台数は倍増し、成長速度は年々加速しております。お客様も全国へ、様々な業種へと広がってまいりました。これは安心・安全を守り続けることで、着実にお客様との信頼関係を築き上げてきた結果だと考えております。3月には兵庫県宝塚市にJES Innovation Center Kansai (JIK) が竣工し、西日本のお客様により迅速かつ充実したサービスを提供できる体制が整いました。今後も全国のお客様のご要望にお応えできるよう体制を強化してまいります。お客様や株主の皆様をはじめ、従業員、取引先、地域社会等との協働ならびに収益や成果の適切な配分が企業の持続的成長に不可欠であるとの考えに基づき、マルチステークホルダー方針を策定いたしました。また、2023年4月に設立した柔道部はグラندスラム・カザフスタンやパリ五輪、グラندスラム・東京など国際大会においても活躍する機会を得ることができました。ご支援ならびに応援していただいた皆様に心より御礼申し上げますとともに、今後もご期待に沿えるようより一層精進してまいります。

「何よりも安全のために」「見えないからこそ手を抜かない」「信頼を礎に」の経営理念の下、当社グループでは、私たちの強みである「適正価格で高品質なサービス」をより多くのお客様に提供し続けるべく、従業員教育・研修にも引き続き注力し、グループ全体の技術力・サービス品質の更なる向上を図ってまいります。

最後となりますが、皆様のこの一年のご発展とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

2025年1月6日

ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社  
代表取締役会長兼社長 CEO 石田 克史